



京の釣鐘

年の瀬が近づく頃、お寺の鐘といえば除夜の鐘を思い出しますが、昔は時を告げるための身近なものでした。仏教では梵鐘と言われ、その響きを聴く者は一切の苦から逃れ、悟りに至る功德があるとされています。

妙心寺の鐘

「徒然草」で絶賛された日本最古の梵鐘

京都市右京区にある臨済宗妙心寺派大本山の寺院。鐘の最も理想的な音(西洋音階の「ラ」)を響かせるといわれています。ひび割れの危険があるため、法堂内に移設展示されていて、現在はレプリカが使われています。重さ約825kg 国宝



方広寺の鐘

方広寺鐘銘事件のきっかけとなった「国家安康の鐘」

京都市東山区にある天台宗の寺院。豊臣秀吉が京都の大仏を安置するために造られました。鐘は現存し「国家安康」の文字も見られます。日本三大梵鐘のひとつ。重さ82.7t 重要文化財

知恩院の鐘

アインシュタインが音の実験を行った釣鐘

京都市東山区にある浄土宗総本山の寺院。除夜の鐘で有名な大鐘で、17人の僧侶が独特のスタイルで鐘をつく姿は京都の冬の風物詩です。日本三大梵鐘のひとつ。重さ70t 重要文化財

萬福寺の鐘

中国と日本の折衷「合山鐘」

宇治市にある黄檗宗の寺院。波状うねり八葉型と呼ばれる形で、鐘の下部に波状のうねりがあるのが特徴。重要文化財



親綱、子綱を持った17人の僧侶によるダイナミックな撞き方



笠置寺の鐘

東大寺から贈られた六葉蓮弁の梵鐘

京都南部 南山城にある寺院。「解脱鐘」といわれ、鐘の下部が六つに切り込まれた意匠は日本に一つしかないとのこと。重要文化財



人事戦略研究所のブログ・コラム ご紹介



弊社の「人事戦略研究所」が運営するサイトでは毎月数回コンサルタントのブログ・コラムを掲載しています。今回はその中からいくつか冒頭部分を紹介しますので、興味をお持ちのものがございましたらぜひご覧ください。

なぜ若手が育たない？
若手社員を定着・即戦力化
させるためのポイント
2025/9/8 執筆／ 大園 羅文



I. 若手社員の定着・即戦力化に必要な「職種別教育計画」
人手不足が加速する中小企業の場合、人材採用と同じくらい重要なのが、若手社員の定着・即戦力化です。大企業と比べ、時間・人員・コスト面にさまざまな制約がある中小企業では、採用した若手社員が1日でも早く会社の戦力となってくれることほどありがたいことはありません。…

全ての都道府県で最低賃金が
1,000 円を超える
2025/9/10 執筆／ 森谷 克也



2025年9月4日、今年度の最低賃金の改定について、全ての都道府県の引き上げ額が出そろいました。結果は実に衝撃的で、タイトルの通り、全ての都道府県で最低賃金が1,000円を超える結果となりました。筆者がアルバイトをしていた学生時代、時給が800円を超え非常に嬉しかった思い出も懐かしく思います。…

最低賃金は
今後どこまであがるのか
2025/8/11 執筆／ 川北 智奈美



1: 令和7年の最低賃金は全国加重平均で66円アップ
各都道府県の最低賃金の答申がでそろい、各都道府県で、63円～82円の引上げとなりました。改定額の全国加重平均額は1,121円(昨年度1,055円)。全国加重平均額66円の引上げは、昭和53年度に目安制度が始まって以来の最高額となりました。昨年の51円も過去最高額とお伝えしており、2年連続の過去最高額更新となっています。…

AI活用普及時代で、求められる
人材像は変わるのか？
2025/7/20 執筆／ 本阪 恵美



近年、生成AIをはじめとする技術の進化は目覚ましいものです。情報収集・分析、資料・文書作成など事務的タスクはもちろん、プログラミング、画像・音楽・動画作成といったクリエイティブ領域の生成まで可能になっています。情報正確性、機密情報取り扱い、品質面の懸念があるとはいえ、専門性・複雑性が高くない業務・タスク領域なら生成AIは実用的になり、また活用も市民権を得つつあります。…

第4回 経大メンバー交流セミナーを開催いたします



- 日 程 2026年2月27日(金) 15:00～19:30
- 講 師 株式会社むそう商事 代表取締役 岡田 征剛氏 テーマ「第二の創業をめざしたグループ戦略」(仮題)
- 会 場 リーガロイヤルホテル京都 (京都駅より徒歩7分)
- 参加条件 経営者大学参加企業 もしくはメンバーからご紹介のあった方
- 参加費 12,000円(税込)

早めのお申込み大歓迎！
こちらのQRコードから
どうぞ！



経営者大学に参加されたOBや現メンバーの方が気楽に参加できる同窓会、また他のチームメンバーとの新しい交流の場です。改めてご案内しますが、ぜひ早めに日程をご確認ください。

<あとがき>

「お火焚き(おひたき)」と呼ばれる京都の伝統行事が11月に行われます。神前に火を焚き、秋の実りに感謝するとともに厄除けを祈願するもの。これに欠かせないのが「お火焚き饅頭」で、火炎宝珠の焼印があり厄除けの願いが込められています。(木下)

発行 株式会社新経営サービス

〒600-8102 京都市下京区河原町五条西入本覚寺前町830 京都EHビル6F
TEL 075-343-0770 FAX 075-343-4714
URL: <https://www.skg.co.jp> E-mail: mas@skg.co.jp